

うまい!

# 岩船米づくり情報 (土づくり編)

平成 27 年 7 月  
岩船米技術者会議  
村上農業普及指導センター  
JA にいがた岩船

まずは予約から

肥料・農薬予約時期です!!

## 「土づくり肥料」の準備も忘れないで!!

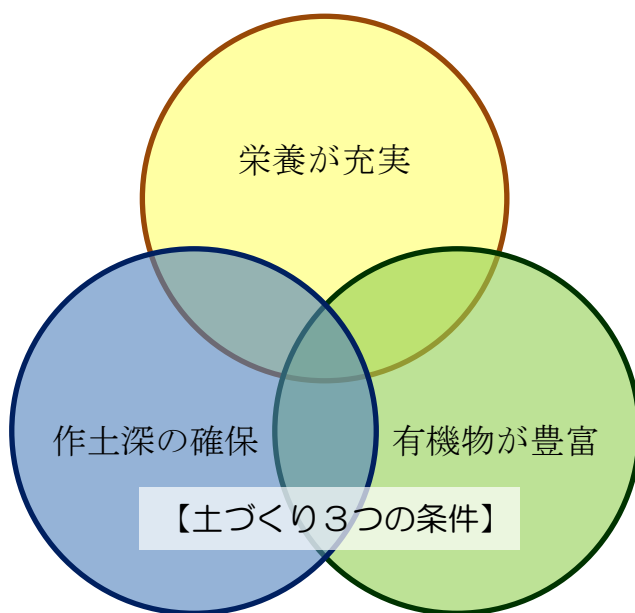
米づくりの大切な時期に入りました。これから穂肥や防除で忙しくなります。でもちょっと待って、みなさんの手元に来年の肥料農薬注文書が届いています。稲作前半を振り返って、来年の肥料設計をじっくり検討してみましょう。「土づくり」もそのひとつ。計画は今だからできる、稲作の基本技術です。

### 1 土づくりは総合技術

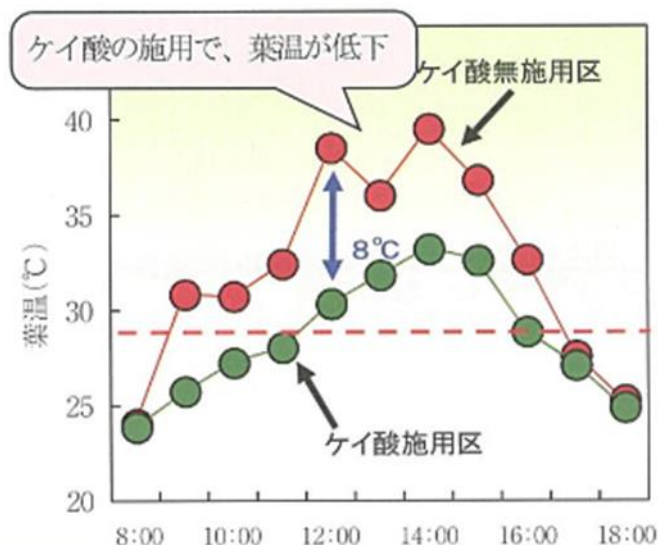
近年、登熟期間の異常高温によりコシヒカリの品質が不安定となっています。高温の年でも低温の年でも、品質の良い米を生産するには、健康な根をもつ丈夫な稲づくりが大切です。

土づくりは、①必要な栄養成分を補給してやるだけでなく、②根がのびのびと育つ作土深、③肥料をとらえる豊富な有機物があることが大切です。

あなたの水田は3条件がそろっていますか。



### 2 高温で力を発揮するケイ酸肥料



高温条件における葉温に及ぼすケイ酸の効果

岩船地域では、ほとんどの地域でケイ酸と鉄が不足しています。特に河川流域や砂質ほ場では地下浸透の大きな水田では、作土層から徐々に失われています。

ケイ酸を多く含む稲は水分吸収力が向上します。多くの水を吸収し、そして放出することで葉温を低下させます。高温によるデンプン合成阻害の影響を軽減し、白未熟粒の発生を抑えます。

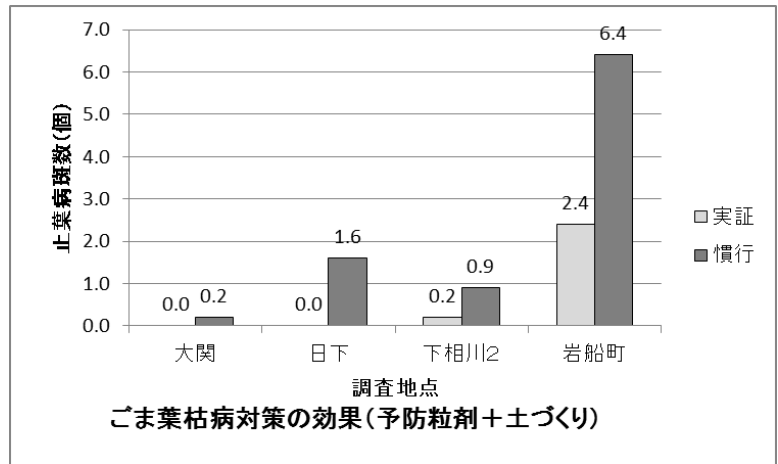
### 3 ごま葉枯病にはケイ酸、鉄、マンガン

ごま葉枯病は、

- ①砂質土壌等秋落ちしやすいほ場
- ②後期栄養不足になった稲
- ③ワキの発生が多いほ場で発生しやすくなります。

ごま葉枯病が多発生しているほ場では、薬剤防除だけでなく土づくりが欠かせません。

ケイ酸、鉄、マンガンを含む資材を施用することでごま葉枯病の抑制に効果があります。



止葉に10個以上の病斑で被害発生

### ◎ これが土づくりの決定版

あなたの田んぼにあった資材を見つけてね!



土壌分析結果	資材名 (例)	成分含有率 (%)	標準施用量 (kg/10a)
鉄・ケイ酸不足が著しい場合 【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	マン鉄ソイル	ケイ酸 13.5、鉄 15.5 苦土 4.0 苦土 1.5	100
ケイ酸不足が著しい場合 【砂壤土～壤土・ごま葉枯病常発地等】	けい酸加里プレミア 34	ケイ酸 34、カリ 20、 苦土 4、鉄 5～8	40～60
	ソイルキーパー	ケイ酸 26、カリ 4 苦土 4、腐植酸 4	40
	スーパーシリカプレミアム	ケイ酸 30、苦土 2	20～40
	ケイカル	ケイ酸 30、苦土 4	120～200
全ての成分の補給 【砂壤土～壤土・一般的な土づくり】	すくすく岩船米ソイル元気	リン酸 5、カリ 1.5 ケイ酸 20、苦土 2、 鉄 7、マンガン 2	60
リン酸とケイ酸、苦土の補給 【壤土～埴土・一般的な土づくり】	粒状ようりん	リン酸 20、 ケイ酸 20、苦土 12	40～60
腐植が不足している場合 【堆肥代替品】	アヅミン	腐植酸 50、苦土 3	20～40
地力低下 (土づくり) 【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	畜糞籾殻堆肥など	(例) 窒素 2.2、リン酸 4.9、 カリ 2.5、C/N比 16	200～400

